

12. ほんわか食堂

記録：井上実

場 所：名南病院 講堂（名古屋市南区南陽通 5-1-3）
対 象：子ども、保護者
参加費：子ども（高校生以下）100 円、保護者の方 300 円
代 表：松土敏子さん
主 催：名南健康友の会
初 回：2016 年 12 月 27 日（火）12：00～14：00 毎月第 3 土曜

参加日時：2017 年 1 月 28 日（土）12:00～14：00（ボランティア 10：00～）
参加人数：子ども 26 人 大人 8 人 見学 5 人 スタッフ 23 人
献 立：スパゲッティ、サラダ、フルーツ（40 食用意したが実際は 50 食以上）
参加者：井上実

お子さん一人での参加も OK！（小さいお子さんは、保護者の方と一緒に来て下さい）
みんなで食べて、話して、自由に遊べる食堂です。
大学生のお兄さんやお姉さんも遊んでくれるよ！
※当日のお手伝いやカンパも大歓迎！

◎活動の流れ

10：00～ ミーティング（注意事項・確認・役割分担）
10：30～ 子ども到着（受付、自己紹介カード、自由時間）
11：30～ 野菜の型抜き・盛り付け（希望者のみ。エプロンと三角巾を持参）
11：50～ 手洗い・食事の準備
12：00～ 食事（みんなで「いただきます」をする）
食べ終わった子から自由時間
13：15～ 豆まき
終了後は自由時間
14：00 終了（ミーティング）

みんなとにかく元気で、ご飯以外の時間は走り回っていた。子どもも調理に参加したり、節分の豆まきをしたり、イベントが盛りだくさんで子どもも大人も笑顔で楽しそうだった。

◎きっかけ

いくつかあるのだが、まずは、ふれあいビレッジで子育てサロンを 4、5 年やっているという経験があることと、名南病院の周辺は低所得者が多く、何かやらないといけないという思いがずっとあったことである。小児科の先生とお話をした時も子ども食堂の話題になり、ますますやりたいという思いが強くなった。本当は今年の夏くらいからやりたかったのだが、他のところの情報を得ると、食事以外の支援をしているところもあり、あれこれやらなければ

ばいけないと思うとなかなか踏み出せなかった。やるからにはやり続けなければならないという思いがあった。夏に開催はできなかったが、冬には絶対に開催しようと決めていた。色々考えたが、子ども食堂というくらいだし、子どもにご飯を食べさせることから始めればいいのだと思い、昨年の12月にスタートした。活動目的のメインは貧困対策だが、その目的を前面に出すことはしていない。本当に食事をする場所が必要な子に支援していくためには、普通の家庭の子にも来てもらわなければならない。地域を巻き込む感じでやって行けたらいいと思う。参加対象は、とりあえず子どもとその保護者にしている。高齢者には「お食事サロン」というところが地域に2か所あるので、こちらは子どもメインでやっていく。

◎場所、ボランティア

病院の一角を使用しているので場所代はかからない。名南病院は少し特殊で、地域の人が「ここに病院がほしい」と思い、お金を出し合って病院を立てた。なので、この病院は地域の持ち物であり、名南健康友の会の会員たちが病院を支えている。病院関係者が「子ども食堂をやりたい」と友の会の人に伝え、会員の承諾を得て子ども食堂が開かれている。ボランティアは主に友の会の人たちである。他に日本福祉大学の学生や様々なつながり（生活と健康を守る会 など）の人が参加している。現在、中心となり活動している人数は松土さんを含め4人。いずれは、地域の人や大学生、コープあいちなど色んな人や団体が集まってプロジェクトチームとして活動をしていけたらいいなと思っている。

◎資金

実家から大量に野菜が届くドクターがおり、その人がもらったものを職員に安く売ってもらいお金にしている。他に、友の会の人たちがバザーをやり、そこで得たお金を活動で使っている。毎月開催すると社会福祉協議会から5万円、年に3万円もらえるので半年内に申請しに行こうと考えている。

◎食材、献立

フードバンクに食材の支援を頼もうとしたのだが、実績がないと登録ができないと言われた。そのため現在は、カンパ活動で集まったお金を使い、食材を購入している。続けていくことで実績ができるのでフードバンクにもう一度申請に行こうと考えている。

名南病院周辺の地域とコープあいちで毎年ケンカ祭りというものをやっており、その繋がりでコープあいちが扱っている商品を寄付してもらった。

現在のメニューは子どもの好きそうなものを作っている。今回は40食作ったが、実際は50食以上出ており、しばらくは多く作れるということもポイントである。いずれは食材にこだわっていきたい。

受付でアレルギー対策を行っていた。

◎宣伝

毎回、回覧板にチラシを挟んでもらっている。名南会と友の会が名南新聞というものを作成しており、そこに記事を載せている。6,000枚以上印刷しており、周辺地域には、2,000枚以上配っている。今回は、教頭先生に許可をもらい、開催する週の木曜日（一斉下校）にチ

ラシを配った。チラシを見ての参加が多く、効果を感じられた。

◎課題、悩み

悩みは沢山ある。とりあえず夏までは毎月開催することを目標にしていく。夏休みは栄養失調になったり、行く場所がなく退屈してしまう子もいるので、回数をアップして宿題を見てあげたり、集まる場所として使ってもらえたらいいなと思っている。財政的な不安はあるが、なんとか続けていこうと考えている。

◎感想

病院は病気の時にしか利用できないものだと思っていたけれども、地域で作っていることにより、身近な場所になっており、まだ2回目なのに参加者が多く早くも地域に浸透しているように感じた。スタッフの中にも手ごたえを感じている人がたくさんいた。だからこそとても慎重で、話し合いの中で「より良いものにしたい」「地域のために何かしたい」という思いがひしひしと感じられ、みんなで作っているという印象を強く受けた。これから回を重ねるごとに、より良いものになっていくのだろうと思う。近所で行われているので、これからも参加して力になればよい。

◎写真

